2020年度　事業報告書

（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

学 校 法 人 敬 和 学 園

敬 和 学 園 大 学

敬和学園高等学校

Ⅰ．法人の概要（2021 年 3 月 31 日現在）

１．理事長　榎本　榮次

２．設置学校及び所在地

敬 和 学 園 大 学　　新潟県新発田市富塚字三賀境 1270 番地

敬和学園高等学校　　新潟県新潟市北区太夫浜 325 番地

３．敬和学園の設立目的

この法人は、教育基本法（昭和２２年法律第２５号）及び学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に従い、福音主義のキリスト教精神に基づいて、敬虔な思いと真理による自由と愛とをもち、国際的現代社会に対する広い見識をもつ有為な人物を育成し、人類と福祉と文化の発展に寄与することを目的とする。

４．設立の背景・沿革

新潟市開港 100 年記念の事業の一環として県市より土地が提供され、新潟県下の日本基督教団所属の教会をはじめ、内外にわたる教会の支援を受け 1968 年 4 月、日本基督教団立として敬和学園高校が創立された。敬和学園の「敬」は神への畏敬を、「和」は隣人愛を基盤とする人の和、さらには地球的規模に拡大して平和を意味している。

以来、故太田俊雄初代校長が礎を築き、ユニークな校風を生み出してきた敬和学園の教育理念は、1991 年 4 月、新発田市・聖籠町に創立された敬和学園大学の教育に引き継がれている。

敬　和　学　園　の　沿　革		
1963 年	11 月	新潟キリスト教主義高等学校設立準備委員会発足
1966 年	7 月	日本基督教団第 9 回常議員会にて、新潟キリスト教主義高等学校設置を議決
1967 年	1 月	新潟キリスト教主義高等学校設立準備委員会にて、高等学校名を「敬和学園」と命名
	6 月	第 1 回理事会開催　初代理事長に北村徳太郎就任
	8 月	新潟県、新潟市より高等学校校地無償提供
	11 月	寄附行為認可（敬和学園創立）
	12 月	法人登記完了
1968 年	3 月	敬和学園高等学校設置認可
	4 月	敬和学園高等学校　初代校長に太田俊雄就任 敬和学園高等学校開校式、献堂式 敬和学園高等学校第 1 回入学式
	12 月	敬和学園　2 代目理事長に大村勇就任

敬　和　学　園　の　沿　革		
1976 年	10 月	敬和学園　3 代目理事長に武藤富男就任
1977 年	11 月	敬和学園高等学校創立 10 周年記念式典
1982 年	4 月	敬和学園　4 代目理事長に高橋勝就任
1984 年	4 月	敬和学園高等学校　2 代目校長にジョン・モス就任
1986 年	10 月	理事会・評議員会で敬和学園大学設立を議決
1987 年	11 月	敬和学園高等学校創立 20 周年記念式典
1989 年	1 月	敬和学園　5 代目理事長に後宮俊夫就任
1990 年	4 月	敬和学園高等学校　3 代目校長に榎本榮次就任
	12 月	大学設置認可（人文学部　英語英米文学科、国際文化学科）
1991 年	4 月	敬和学園大学　初代学長に北垣宗治就任 敬和学園大学第 1 回入学式 敬和学園大学開学式
1993 年	4 月	敬和学園大学人文学部英語英米文学科に教職課程（英語）設置
1997 年	11 月	敬和学園大学体育館新築・講義棟増築献堂式
1998 年	1 月	敬和学園高校チャペル完成・初礼拝
	6 月	敬和学園高等学校創立 30 周年記念式典
2000 年	9 月	敬和学園大学人文社会科学研究所設置
2001 年	4 月	敬和学園大学創立 10 周年記念式典
2003 年	4 月	敬和学園大学　2 代目学長に新井明就任 敬和学園高等学校　4 代目校長に小西二巳夫就任 敬和学園大学 大学基準協会に正会員として加盟
	5 月	敬和学園大学人文学部共生社会学科設置認可
2004 年	4 月	敬和学園大学人文学部に共生社会学科設置 敬和学園大学人文学部共生社会学科に社会福祉士国家試験受験資格課程を設置 敬和学園大学人文学部英語英米文学科を英語文化コミュニケーション学科に名称変更
2005 年	4 月	敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（公民）設置
	10 月	敬和学園大学創立 15 周年記念セミナー
	11 月	敬和学園大学創立 15 周年記念講演会
2006 年	4 月	敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（社会）設置
	11 月	まちの駅よろず「新発田学研究センター」開設
2007 年	1 月	敬和学園高等学校　新ホール「友愛館」竣工
	11 月	敬和学園高等学校創立 40 周年記念礼拝
2008 年	3 月	敬和学園大学　大学基準協会の大学評価により「適合」の認定を受ける
2009 年	4 月	敬和学園大学　3 代目学長に鈴木佳秀就任
2010 年	3 月	敬和学園大学ピロティ改修
	10 月	敬和学園大学創立 20 周年記念式典
	12 月	敬和学園大学アーチェリーレンジ竣工
2011 年	4 月	敬和学園　6 代目理事長に大宮溥就任
2012 年	4 月	敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（地理歴史）設置

敬　和　学　園　の　沿　革		
2015 年	3 月	敬和学園大学　大学基準協会の大学評価（第 2 期）により「適合」の認定を受ける
	4 月	敬和学園大学　英語文化コミュニケーション学科の定員を 80 人から 60 人に変更
	5 月	敬和学園　7 代目理事長に小西二巳夫就任
	6 月	敬和学園大学　4 代目学長に山田耕太就任
2016 年	4 月	敬和学園大学　学生寮開設
2017 年	2 月	敬和学園大学　ラーニングコモンズ開設
	9 月	敬和学園法人・高校創立 50 周年、大学創立 25 周年記念式典
	10 月	敬和学園創立 50 周年事業、宗教改革 500 周年記念講演＆オルガンコンサート
2018 年	4 月	敬和学園　8 代目理事長に榎本榮次就任 敬和学園高等学校　5 代目校長に中塚詠子就任
2020 年	10 月	敬和学園大学創立 30 周年記念式典

5．設置する学校の入学定員・収容定員・在学者数

（2020 年 5 月 1 日現在　学校基本調査より）

学　校　名			入学定員	収容定員	在学者数
敬和学園大学	人文学部	英語文化コミュニケーション学科	60 名	240 名	236 名
		国際文化学科	80 名	320 名	375 名
		共生社会学科	40 名	160 名	125 名
		計	180 名	720 名	736 名
敬和学園高等学校	全日制課程	普通科	200 名	600 名	600 名

6．役員・評議員・教職員の概要

（1）　役　員

(2021 年 3 月 31 日現在)

定数：理事　13 名、監事　3 名

区　分	氏　名	常　勤・非常勤の別	就任年月日・主な現職
理　事　長 （7　号理事）	榎　本　榮　次	非常勤	2015 年 4 月 1 日就任 2018 年 4 月 1 日理事長就任
1　号　理　事	山　田　　耕　太	常　勤	2003 年 4 月 1 日就任 2015 年 5 月 28 日常務理事就任 敬和学園大学学長
2　号　理　事	中　塚　　詠　子	常　勤	2017 年 4 月 1 日就任 2018 年 5 月 28 日常務理事就任 敬和学園高等学校校長

区　分	氏　名	常　勤・非常勤の別	就任年月日・主な現職
3　号　理　事	下田尾　治郎	常　勤	2015年6月1日就任 敬和学園大学宗教部長
3　号　理　事	宇田川　潔	非常勤	2001年 4月 1日就任 2015年5月28日副理事長・常務理事就任
3　号　理　事	小田中　肇	常　勤	2018年4月1日就任 敬和学園高等学校教諭
4　号　理　事	熊江　秀一	非常勤	2017年4月1日就任 日本基督教団大宮教会主任担任教師
4　号　理　事	福井　博文	非常勤	2013年4年1日就任 日本基督教団東中通教会主任担任教師
4　号　理　事	長倉　望	非常勤	2013年4月1日就任 日本基督教団新潟教会主任担任教師
5　号　理　事	横山　由美子	非常勤	2014年4月1日就任 おらって市民エネルギー㈱取締役
6　号　理　事	近　伸之	非常勤	2011年4月1日就任 日本同盟基督教団豊栄基督教会牧師
7　号　理　事	東　晴也	常　勤	2016年4月1日就任 敬和学園高等学校のぞみ寮寮長
7　号　理　事	高田　清太郎	非常勤	2019年4月1日就任 ㈱高田建築事務所代表取締役会長
監　事	吉澤　昭男	非常勤	2002年5月31日就任 (福)西山福祉会理事長
監　事	佐藤　哲也	非常勤	2009年5月28日就任 新発田ガス㈱代表取締役社長
監　事	渡辺　明紀	非常勤	2017年4月1日就任 新発田建設㈱代表取締役社長

（2）　評議員　　(2021年3月31日現在)

定数：27名

区　分	氏　名	区　分	氏　名
第1号評議員	東　晴也	第1号評議員	佐藤　健一郎
第1号評議員	小田中　肇	第1号評議員	趙　晤衍

第１号評議員	下田尾　治郎	第１号評議員	金山　愛子
第２号評議員	川村　雅子	第２号評議員	樋沢　康博
第２号評議員	上田　晋三	第２号評議員	長北　博
第２号評議員	近　伸之	第２号評議員	鈴木　貴之
第３号評議員	本間　彊	第３号評議員	清水　明次
第３号評議員	横山　由美子	第４号評議員	辻元　秀夫
第４号評議員	久保田　愛策	第４号評議員	片岡　謁也
第４号評議員	髙澤　大介	第４号評議員	熊江　秀一
第４号評議員	宇田川　潔	第４号評議員	田中　美香
第４号評議員	鷹澤　昭一	第４号評議員	大崎　秀子
第４号評議員	比企　広正	第４号評議員	小竹　城
第４号評議員	太田　信弘		

（３）教職員数（2020 年 5 月 1 日現在）

① 法　人

専任職員	2 名

② 大　学

専任教員	26 名	専任職員	20 名
特任教員	2 名	任期付専任職員	2 名
契約講師	3 名	嘱託職員	4 名
客員教員	0 名	臨時職員	2 名
非常勤講師	58 名	非常勤職員	9 名
合計	89 名	合計	37 名

③ 高等学校

教諭	34 名	専任職員	25 名
助教諭	4 名	嘱託職員	8 名
常勤講師	5 名	臨時職員	6 名
非常勤講師	7 名		
合計	50 名	合計	39 名

Ⅱ．中長期計画

敬和学園大学の目指すべき方向性（2019～2023 年度計画）

（１）AI 時代のリベラルアーツ教育

「多様性」（ダイバーシティー）と「ICT」をキーワードに、共通基礎科目の講義内容を市民教育へと収斂させるなど、人権・平和・共生にアクセントを置いた教育プログラムを展開するためのカリキュラム改革を実施します。

（２）ミッション・ステートメントと中長期ヴィジョンの共有

ミッション・ステートメントを柱に、大学教職員が一致団結してユニークな敬和教育を創造していきます。地元の学生を地元の地域社会を担う人物に育成していく「地域循環型教育」、とりわけアクティブラーニングに重点を置き、「まちなかキャンパス化」を進めます。

（３）大学の魅力と質保証

大学の各種方針を定め、PDCA サイクルを確立し、教育の質の向上を図ります。2019 年度は第三者評価、2021 年度は大学基準協会による大学評価を受けます。

評価後は、より魅力ある大学となるように改善するとともに、大学の魅力を発信するため、入学から教育活動を経て卒業、就職するまで一貫した広報活動を展開していきます。

（４）学生確保の方針

人口減少が進み、県内の大学進学者も減少することが予想されます。このような状況の中、敬和学園の「7 年間の一貫教育」を具体化して、キリスト教教育・英語教育・情報教育・歴史教育などの教育課程を始め、寮教育、クラブ活動、ボランティア活動、アクティブラーニングなどの課外活動の連携、法人組織の支援協力体制の強化を進めます。敬和学園高等学校からの内部進学者による入学定員の確保と、収容定員の 100%維持を目指します。

（５）学生支援体制の強化

2015 年に開所した学生支援センターと 2016 年に開寮した学生寮について、当初の目的を達成しているかどうか点検評価を行い、改善すべき点を改善します。

学生アンケートや卒業時アンケートの調査結果から、学生の満足度を上げるための学生支援体制を強化し、退学者数 3%以内と就職率 80%達成に努めます。

（６）国際交流の強化

短期留学を促し、在学生の 5%が留学（海外研修を含む）することに努めます。

（７）経営改革・財政改革

教職員一人ひとりが経営マインドをもち、将来を見据えた上で、時機に応じた改革を進めていく必要があります。人件費比率を 60%以下に抑えつつ 180 人の学生確保を前提として黒字化を進めていきます。

Ⅲ．事業の概要

理事長　榎本　榮次

学校法人敬和学園の 2020 年度の事業概要を報告します。

１．法　人

2020 年度は、異常な年でした。なお続いています。世界中が新型コロナウイルスに見舞われ、未曾有の災禍を耐えねばなりませんでした。その波は未だ収まりそうにありません。これは一人敬和学園だけに起こっていることではなく、人類全体への問いであり、試練です。バベルの塔建設に似た現代人類の「早く、高く」の掛け声への警告ではないでしょうか。

敬和学園では、特に寮を持つ学園として感染を防止のために、特別の対策が求められました。担当医の指導の下、学生生徒の健康を最優先させ対策が組まれました。入学式や卒業式をはじめ多くの行事が中止または縮小しなければなりませんでした。今のところ、直接人的被害は見られませんが、気を緩めることはできません。学生生徒に対する授業においても、多くの場で対面を避けオンラインでの方法がとられています。ただ、課題と共にこれによって新しい可能性が開かれているのも事実です。理事会もそれに習っています。

その様な状況の中にあって、建学の精神「敬神愛人」のもと高校も大学も、教職員がそれぞれ協力しながら工夫と努力をもって歩むことができています。このことは神の深い憐みと、理事、評議員の皆様をはじめ敬和学園を支え応援してくださる方々の尊いご協力によるものであることを思い、深く感謝申し上げます。

理事会に託された課題は、敬和学園がその教育理念にしっかりと立ち、教育現場が安心して活動できるように支え応援することです。そのためには、運営の健全化が必至です。

まず、学生生徒数の確保が求められます。2020 年度は、大学においては定員 180 名に対して 214 名、高校では 200 名定員に対して 205 名の生徒が来ました。2021 年度は、大学 182 名（うち編入生 5 名）、高校では 160 名の入学者を得ています。コロナ禍による窮状、少子化での生徒数の減少、経済的理由など高校、大学共に厳しい場に立たされています。特に高校において深刻な傾向が見られます。

入学者の確保も重要ですが、それ以上に、深刻に受け止めなければならないのが退学者数です。毎年指摘されてきたことですが、教師の努力にもかかわらず具体的な改善策が見られていません、高校において今年も 40 名を超える退学・転校生を出しています。これは異常としか言いようがありません。受け入れたからにはその子を卒業まで連れて行く責任があります。それぞれやむを得ない事情があるのでしょうが、既成の概念で生徒に「ここまで来い」ではなく、生徒のところに寄り添う教育の方法が求められます。

財政の課題は尽きません。2020 年度は前年に比べて良くなっています。前年度が法人全体で 1 億 9000 万円の支出超過であったのに対し、約 5400 万円の支出超過になりました。

その内訳は法人本部が 3100 万円の支出超過、大学は 200 万円の収入超過、高校は 2500 万円の支出超過です。大学は大きく改善されたことは喜ぶべきことです。資産運用を止めたことも要因の一つです。収入の主な財源は学生生徒納付金と経常費補助金です。支出の主なものは人件費、教育研究費、管理費です。大学は近年定員が確保でき改善されましたが、楽観できません。高校は生徒減少で深刻な事態です。来年度は大幅な赤字が予想されています。なお法人全体の深刻さは変わりません。今後赤字幅をできるだけ小さくするよう努力しなければなりません。

敬和学園は、「キリスト教主義に基づく人格教育」「一人ひとりを大切に」「少人数教育の徹底」「リベラルアーツ」「アクティブラーニング」「労作教育」「7 年一貫教育」これらを共通の理念として高校大学共に協力しながら進めています。毎年、高校から大学へ生徒を 50 名送り出すことが目標です。2020 年度は 44 名が高校から送り出されました。21 年度は 39 名です。これを強化する必要があります。「7 年かけて地域に生きる人づくりをする」という大きなビジョンです。しかしこれは自然にしているだけではそうはなりません。個人の思いに任せて掛け声だけでは、中身がなくなり減少するでしょう。高校も大学も相手を支えているという御荷物意識にとどまっていると未来はありません。意識を共有するために、合同の研修が必要です。2020 年度はコロナのために研修の機会が閉ざされました。「高大連携推進委員会」もさらに充実させ有機的、実質的なものにして行かなければなりません。そのほか授業やクラブ活動での連携強化を図りましょう。

私学の特徴として寄付による支えも重要です。学園への寄付は、財政活動とともに教育的意味があります。私学はそれで成り立つところです。残念ながら近年、寄付への動きが鈍くなっています。それは敬和教育への期待が薄まっていることの現れとも言えます。敬和教育への理解を深めつつ、支援を求めていきたいと思います。良い教育の場には寄付が集まります。地域の敬和の会も開けませんでしたが、今後の課題です。皆さんのご協力を心からお願いいたします。

敬和学園大学の後援団体であるオレンジ会が心温まる支援をくださいました。コロナのために苦しい生活を余儀なくされている学生たちのために、オレンジ会の予算枠を超えて一時金支援と食事支援をしてくださいました。地域にみられる教育力です。

学園の職場が安心して働ける場となることは重要な課題です。そのためには、高い倫理観としっかりとした人権意識、互いの信頼関係が欠かせません。敬和学園の職場において、いくつかの残念な出来事が起きました。このようなことはどこでも起こりうることですが、大切なことはその時どう対応するかです。反省を生かし、処置が的外れにならないように留意したいと思います。仲間を裁き合うことは避け、恐怖と派閥が支配するような職場でないような自浄作用が必要です。そのために服務規定を改めました。

教職員の生活をしっかりと保障し、安心して働ける職場にしていきたいと思います。これも自然にしていたら混乱した倫理性の欠けた職場となります。ハラスメントや非民主的な

力が支配的な学園にしてはなりません。表面的な平和ではなく、ぶつかり合いながらも互いを認め合う民主性を身につけねばなりません。互いの欠陥を補い合いつつ、自浄作用を持ち、より高い理想に向かって高め合う職場、学園にしていかなければなりません。

基本給の安定と、夏冬の賞与が出せるように努力しています。無駄な超過勤務や浪費も気をつけて減らすようにしましょう。

敬和学園高等学校において校長交代が起こりました。昨年 12 月、中塚校長からご自身の健康について報告を受け、このまま校長職を続けることが困難とのことでした。高校の 5 者と相談の末、とりあえず 4 月まで、小田中肇教諭を校長職代行とすることを決めました。その後、中塚校長の病状がよくなれば復職をと望みましたが、2 月末、ご本人の意志によりやはり無理であるとのことでした。常務委員会に図り、4 月から小田中肇教諭に正式に校長職をお願いすることになりました。このことを教職員に通告し、混乱を避け支え合う学校になるようお願いしました。幸い、動揺も収まり、 課題を引き継ぎ、落ち着いたスタートを切ることができています。危機をチャンスに変える取り組みがなされています。ご理解をお願いします。

新型コロナウイルスによる被害は行きつくところを知りません。ウイルスによる被害もさることながら、そこから波及する人間関係や経済的打撃は未曾有のものがあります。いたずらに動揺せず、慎重に対応したいと思います。科学から学ぶ謙遜と、互いの思いやりを知り、自分を知り、他者を知り、神を知る機会としたいと思います。

おわりに、

聖書は「神はご自分にかたどって人を創造された。・・・神はこれを見て、良しとされえた」（創世記 1）とあります。このように天地創造物語は肯定から始まります。そして私たちのキリスト教主義学校は「すべて教育は、否定からではなく、肯定から始まる」ものでなければなりません。いかなる否定も、絶対的肯定が前提になります。敬和学園に送られてきたすべての学生生徒を「神の似姿を宿す者」として尊び、援助する学園でありたいと願います。自己をそのまま肯定し、本来の自身への歩みが始められるよう援助します。

２．大　学

大学では、以下の理念・目的及び方針の下、2020年度の教育研究活動等に取り組んできました。

（１）大学の理念・目的、３ポリシー

◇建学の精神

神を敬い、人に仕える

◇ミッション・ステートメント

敬和学園大学は、キリスト教精神に基づく自由かつ敬けんな学風の中でリベラル・アーツ教育を行い、 グローバルな視点で考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重んじ、隣人に仕える国際的教養人を育成する。

◇ヴィジョン

隣人に仕えるための地域社会への貢献として、持続可能な社会の担い手を育成する。

◇ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 人権と人間の尊厳の原理を尊重する姿勢と真理を希求する姿勢を身につけている。（基礎知識）
2. グローバルな視点をもち、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現することができる。（専門知識、論理的思考、批判的思考）
3. 対話とコミュニケーションを重んじ、隣人に仕えることができる。（コミュニケーション能力）
4. 高い倫理的基準を持ち、地域社会に貢献することができる。（社会との関係）

◇カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

1. キリスト教に基づいたリベラルアーツ教育により、人権と人間の尊厳の原理を尊重する態度と教養を養う。（基礎知識）
2. 異なる文化について複眼的に見ることができ、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現する力を養う。（専門知識、論理的思考、批判的思考）
3. 日本語と外国語を用いて、人とのコミュニケーションを豊かにする能力、さらに、情報リテラシーを身につけて、社会と対話する情報の受発信を行う能力を養う。（コミュニケーション能力）
4. 地域や国際社会の課題について理解を深め、インターンシップ等を通して社会に貢献する力を養う。（社会との関係）

◇アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）

1. グローバルな視点に立って考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重視する、国際的教養人をめざす人。
2. 敬和学園大学における学びを通じて、「人間とは何か、人生をいかに生きるか」を考える意欲を持つ人。
3. 真理と自由を探求する意欲があり、人の役に立ちたいと考える人。

（２）教学・学生支援

2020年度は、新型コロナウイルス禍での活動に終始した一年となりました。4月には入学式を中止して、オンライン形式の入学礼拝に切り替えました。新入生歓迎学術講演会を一年延期すると共に、オンライン授業の教職員研修会を行った後、授業開始を5月の連休明けに延期した上で、5月中はオンライン授業を行いました。6月は感染防止対策を講じ、オンラ

イン授業と対面授業を1日毎に交互に行い、7月から対面授業中心に切り替えて現在に至っております。また、上半期中に学内のネットワーク環境の見直しを行い、全教室でWi-Fi環境が整いました。併行して、日本学生支援機構（JASSO）等外部機関の補助事業等を活用して、困窮している学生に対する支援を行いました。

また、「実践するリベラルアーツ教育」に相応しい人物の育成のために「学生寮」を開寮し、5年目を迎えた2020年度は、37名の寮生で寮運営をしました。「学生寮」は、同年度にオープンした、隣接する「新発田市立図書館」を含めた複合施設「イクネスしばた」と共に魅力的な施設となっており、本学は「イクネスしばた」の事業に、新型コロナウイルス禍のため縮小して、出来うる範囲内での協力をしました。

研究を通じて地域連携を行う「まちラボ」、学生団体の活動拠点としての「まちスタ」で新しい取り組みを企画・準備して、2020年度はその一環として、防災脱出ゲーム「ニゲルっぺ」、「プレゼンテーションいちば」（プレいち）等を開催しました。

英語文化コミュニケーション学科は、2020年度よりグローバル・マインドを備えた人材を育成するキャリアコミュニケーション・コースを開設すると共に、新カリキュラムを導入しました。国際文化学科では、2019年度に新設した「情報メディア・コース」のカリキュラムがほぼ出揃いました。共生社会学科も、「ソーシャルワーク・コース」のカリキュラムの一部見直しをしました。

また、2015年度に「学生支援センター」を開所し、生活・学習・就職などにおいて困難を抱えている学生を支える仕組みを構築してきて、2020年度も学内外の諸機関と連携して、組織的に学生を支援しました。

併せて、年度内の除籍者を含む退学率を4%以内に収めるよう退学防止に取り組み、結果として4.2%（31名）となり、昨年度の比率5.8%（39名）を下回りましたが、目標値には達しなかったため、引き続き、関係部署において具体的な対策を検討して対応していきます。

（３）就職

就職を希望する学生を分母とした就職率が 96.9%で前年比－1.9%、卒業生を分母とする就職者の割合が 75.4%で前年比＋5.6%となりました。新型コロナウイルスの影響で企業が採用活動を一時休止する等、スタートが遅れた学生にとっては厳しい一年でした。また採用を中止する企業もあり、希望業種を変更せざるを得ない学生もいました。県内就職率が前年比＋10%となったことも大都市圏での感染拡大による学生の意識変化が影響しているようです。

「キャリア教育」「職業教育」「就職活動支援」プログラムの実施に関しても新型コロナウイルスの影響は大きく、当初計画を大きく変更する形となりました。1 年生の「基礎ゼミガイダンス」は対面で実施できず、オンライン形式（オンデマンド配信）で実施しました。1 年生後期、2 年生前期ガイダンスは東京から講師を呼べずに中止となりました。2 年生後期

の授業科目「キャリア開発入門」は急遽内容を組みなおし、オンライン授業で実施し、履修者も目標値を上回りました。3 年生「キャリア開発」はプログラムを何度も組み直し、オンライン授業で実施しました。面接練習やマナー講座等のオンライン授業では実施できないプログラムは感染状況を注視しながら、後期にガイダンスとして希望者を募り対面で実施しました。3 年生向けプログラムについては、就職活動準備に大きな影響があるため、極力例年と変わらないプログラムを提供できるよう尽力しました。ですが、3 年生を中心に毎年実施しているインターンシッププログラム等の実習だけは、ほぼ実施することができませんでした。また、実施を検討していた外国人留学生のみを対象とした就職ガイダンスも行えませんでした。

一方、3 年次生保護者との懇談会、企業との就職懇談会、学内合同企業説明会等の学内イベントについては実施方法を工夫する事で新しい形が見え、コロナ禍での実施が功を奏す結果となりました。

また、就職支援の一貫として行っている授業科目「ビジネスマナー講座（秘書検定対策）」は約 50 名、「SPI 対策」は約 100 名と 2020 年度も多くの学生達に学ぶ機会を提供することができました。今後も継続して両科目の履修を推奨していきたいと考えています。

そして、2020 年度はキャリアサポート課のリニューアル工事を行うことが出来ました。一部棚を撤去したことで部屋全体が広く使えるようになり、また明るさも増しました。今後は新しくなったキャリアサポート課を学生達が気軽に活用できるよう工夫していきます。

【2020 年度　就職状況】　（2021 年 5 月 1 日現在）

就職率　75.4%、就職内定率　96.9%、就職者数　95 名、進学者数　3 名

主な就職先

（医）愛広会、アクシアルリテイリング㈱、（福）愛宕福祉会、㈱ウオロク、越後おぢや農業協同組合、㈱カインズ、花王プロフェッショナル・サービス㈱、㈱クスリのアオキ、㈱コメリ、（福）常陽会、スズキ新潟販売㈱、スワロー工業㈱、㈱セントラルパートナーズ、㈱大光銀行、高野ガス㈱、㈱武江組、㈱ドトールコーヒー、㈱TOWA　JAPAN、新潟県警察本部、新潟綜合警備保障㈱、㈱ハードオフコーポレーション、㈱はあとふるあたご、東日本電信電話㈱、㈱ビット・エイ、㈱ビップ、㈱マリークヮントコスメチックス、㈱メガネスーパー、㈱リビングギャラリー　他

（4）広報・入試

2021 年度入学者は 177 名と、入学定員にわずかに届きませんでした。学科別では、国際文化学科 99 名（充足率 123.8%）が定員を超える入学者を集めたことに対し、英語文化コミュニケーション学科 44 名（充足率 73.3%）と、共生社会学科 34 名（充足率 85.0%）は

定員に達することができませんでした。また、法人間では、高校からの入学者が 39 名と前年比で 5 名減少し、目標の 50 名には届きませんでした。

2020 年 2 月ころからの新型コロナウイルス感染拡大により、春先から初夏にかけて、業者主催の会場ガイダンスや高校内ガイダンスは中止となりました。また同時期の高校訪問も自粛せざるをえない状況で、感染拡大予防の観点から手探りでの広報活動を余儀なくされました。オープンキャンパスにつきましても 3 月は中止とし、6 月以降は午前 オンライン配信（YouTube LIVE）と午後 対面開催（来校型）を組み合わせて実施しました。また、コロナ禍での学習進行遅れの影響により大学選びに出遅れた高校生向けに、当初予定していなかった 9 月オープンキャンパスを追加で開催しました。

資料請求者に対する資料送付やメールアドレスへの DM を活用することで、オープンキャンパスおよび英検講座等の参加者数は 225 名（敬和学園高校以外の高校 3 年生）と前年を上回ることができました。歩留まりにつきましては、出願率 41.8%（前年比-8.2%）、入学率 34.7%（前年比－9.6%）と減少はあったものの高い数値となり、オープンキャンパス等参加者の多くが、本学を第一希望として推薦型選抜または総合型選抜（AO）で受験してくれました。オープンキャンパス等参加者からの入学者数は、113 名（昨年比－2 名）と前年並みとなっています。イベントを通じて、敬和学園大学らしい一人ひとりを大切にする姿勢を実際に体験していただくことで、本学を第一希望とする受験生を安定的に確保することができたといえます。

その一方、新潟県内の受験生が新型コロナウイルス感染拡大地域の大学への進学を敬遠したことによって地元志向が高まり、共通テスト利用型を含む一般選抜の志願者数が増加（230 名→246 名、前年比＋16 名）しました。しかしながら、入学手続きの段階で本学は新潟県内競合校に競り負け、年度末にかけて入学手続き後の入学辞退が多数見受けられました。一般選抜での入学者数は、53 名（前年比－20 名）と大幅に落ち込みました。

2021 年度入学者より、奨学金支出の適正化を 1 つの目標に、資格特待生の採用基準を変更（条件の厳格化、対象資格の拡大）しています。2020 年度は 1 種特待生（授業料全額免除）として 28 名を採用したことに対して、2021 年度は 2 種特待生（授業料 47 万円減免）として 20 名の採用となりました。また、資格特待生の内訳は、英語文化コミュニケーション学科 10 名、国際文化学科 10 名となり、制度設計当初の目的の 1 つであった英語文化コミュニケーション学科の入学者確保という色合いは薄らいできています。

共生社会学科においては、残念ながら 2020 年 3 月の社会福祉士国家試験の合格者（在学生・卒業生含む）は 0 名で、広報面において厳しい状況にありました。英語文化コミュニケーション学科においては、資格特待生の採用状況からも分かるとおり、英語力がある受験生であっても国際文化学科を選択する傾向が強くなっています。グローバルな学びを期待する受験生にとっては、英語文化コミュニケーション学科よりも国際文化学科の方が多様な学びができるように映るようです。英語文化コミュニケーション学科（キャリアコミュニ

ケーション・コース）、共生社会学科（ソーシャルビジネス・コース）につきましては、結果的に新コース設置は入学者増につながりませんでした。他大学においても、学部や学科の新設が入学者増につながらないケースが見受けられます。受験生、保護者、高校教員からは学びや就職についての着実な実績が評価されています。本学においても、入学後の成長について新潟県内の競合校に対する数値等による分かりやすい差別化が必要です。

（５）財政

2020 年度決算において、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた「基本金組入前当年度収支差額」は 258 万円の収入超過となり、若干ながら黒字を計上することができました。2010 年度以来 10 年ぶりの黒字決算です。当初予算では約 2 千万円の赤字見込みでしたので、約 2 千 2 百万円の収支が改善されたことになります。この黒字転換は、入学・収容定員充足の収入増加による改善もありますが、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいと考えられます。とくに支出面において、感染防止のため事業活動が例年どおりに実施できず、中止、延期、規模縮小等の対応を余儀なくされ、様々な支出科目が減額となりました。一方、感染防止対策費について、当初予算には計上していませんでしたが、本学の教育活動を継続するために必要な対策を行い、費用合計は約 2 千万円となりました。主な内容は以下のとおりです。

感染対策（学バス増便（三密回避）、保健衛生品、緊急対応用アパート他）	11,126 千円
遠隔授業等通信環境（貸出用パソコン、Zoom ライセンス、無線 LAN 強化他）	4,130 千円
衛生環境（学内除菌清掃、朝換気）	4,391 千円
空調設備等改修（教室換気扇設置）	369 千円

また、本年度も収支改善策として経費削減を予算に盛り込み、合計で約 2 千万円の削減を実施しております。上述のとおり新型コロナウイルスの影響を大きく受けておりますが、削減努力の結果もあり、決算は収入超過で終えることができました。

この決算により、本年度末の保有資金は 12 億 8 千万円、前年度末に比べて約 3 千万円減少しました。これは、年度末退職者の退職金団体交付金約 4 千万円が未収入金であることや、学納金前受金収入の減額によるものです。大学運営に必要な資金としては十分確保できています。

本年度の決算は、収支構造の抜本的な改善によってもたらされたのではなく、コロナにより計画どおりの事業活動が実施できなかったことが要因であることを踏まえ、今後も財政健全化に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

本年度、コロナ禍で各方面から本学及び学生に対し、多大なご支援が寄せられました。こ

こに報告させていただきます。

・オレンジ会（経済的に困窮する学生への緊急支援、現金及び食事券の支給、合計 74 名）
・新発田市と市内 13 の協力企業・団体（新発田市内の一人暮らしの学生への支援、食品類が詰められた「しばた Tomorrow Box」224 箱）
・災害ボランティアネットワーク（不織布マスク 2000 枚、ガーゼマスク 280 枚、消毒スプレー缶 240 本）
・株式会社ハレハワイイ（不織布マスク 1000 枚）
・フードバンクしばた（食料品）
・アイリスチトセ㈱（カイロ 240 個）

また保護者会である後援会から、コロナ対策や施設設備支援として、ネットワーク環境強化の Wi-Fi 設備設置、三密回避の遠隔授業等に対応するための教室プロジェクタ設置、コンピュータ教室パソコン入替などのご支援をいただきました。

皆様から賜わりました温かいご支援につきまして深く感謝申し上げます。

（６）2020 年度　卒業者数（9 月卒業者含む）

英語文化コミュニケーション学科	46 名
国際文化学科	60 名
共生社会学科	24 名
合　　計	130 名

（７）地域連携活動（新発田市・聖籠町関係）

【前期】
・7 月 7 日　　新発田市との包括的連携協定書署名式（新発田市役所）
・5 月 23～30 日　医療従事者感謝のための新発田市役所ブルーライトアップ（作業ボランティア）
・9 月 12 日　　聖籠町キッズ・カレッジ（陶芸教室）①（結ハート聖籠）

【後期】
・10 月 3 日　　聖籠町キッズ・カレッジ（陶芸教室）②（結ハート聖籠）
・10 月 9~11 日　OMO Shibata　への参加
・10 月 26 日　　新発田市オープンカレッジ①（イクネスしばた）
・10 月 31 日　　聖籠町キッズ・カレッジ（英語教室）①（聖籠町町民会館）
・10 月 31 日　　廃校清掃ボランティア（旧米倉小学校）
・11 月 2 日　　新発田市オープンカレッジ②（イクネスしばた）
・11 月 20 日　　廃校清掃ボランティア（旧米倉小学校、旧松浦小学校、旧車野小学校）
・11 月 28 日　　聖籠町キッズ・カレッジ（英語教室）②（聖籠町町民会館）
・12 月 12 日　　聖籠町キッズ・カレッジ（英語教室）③（聖籠町町民会館）

・1 月 15 日　　旧新発田藩下屋敷庭園「清水園」除雪作業ボランティア
・2 月 14 日　　「プレゼンテーションいちば」（プレいち）開催

【通年】
・日本語を母語としない子どもへの学習支援 J スクール（新発田市国際友好の会）
・イクネスサポータークラブ　講師派遣
・阿賀北ノベルジャム 2020
・ラジオ番組「敬和キャンパスレポ」（エフエムしばた）
・FM しばた「地域コミュニティを活用した地域温暖化対策啓発事業」番組制作協力
・少年野球 グラウンド貸し出し（新発田リトルシニアリーグ）

（8）オープンカレッジ等主な行事

日　程	演　　題	講　　師	参加者数
新発田市　オープンカレッジ　会場 ： イクネスしばた			
10月26日（月）	ベトナムの首都ハノイの飲食文化	長坂康代　准教授	21名
11月2日（月）	「働きたくないイタチ」と考えることばと人口知能	主濱祐二 准教授	15名
聖籠町　キッズ・カレッジ 「子ども英語教室」　会場 ：聖籠町町民会館			
10月31日（土）	英語で遊ぼう！（その1）	虎岩朋加　准教授、大岩彩子 特任講師 英語文化コミュニケーション学科学生	11名
11月28日（土）	英語で遊ぼう！（その2）	虎岩朋加　准教授、大岩彩子 特任講師 英語文化コミュニケーション学科学生	8名
12月12日（土）	英語で遊ぼう！（その3）	大岩彩子 特任講師 英語文化コミュニケーション学科学生	7名
聖籠町　キッズ・カレッジ 「子ども陶芸教室」　会場 ：結ハート聖籠			
9月12日（土）	子ども陶芸教室（型つくり）	趙晤衍 教授	20名
10月 3日（土）	子ども陶芸教室（絵付け）	趙晤衍 教授	20名
そ　の　他			
9月19日（土）	英検2級 一次・二次試験対策 英語集中講座（オンライン講座）	大岩彩子 特任講師	7名
9月19日（土）	英検準2級 一次・二次試験対策 英語集中講座（オンライン講座）	金山愛子 教授	4名
10月3日（土）	創立30周年記念講演会 「混迷を深める時代におけるキリスト教教育の課題と可能性」	西原廉太氏　キリスト教学校教育同盟理事長、立教学院副院長	77名
1月30日（土）	キャリアコミュニケーション・コース開設記念講演「飛び出せ日本！世界で日本を育てる人材になろう」	村治孝浩 GLOBALEX LLC.代表、認定エグゼクティブコーチ	150名
3月 21日（日）	「阿賀北ノベルジャムオンライン2020」グランプリ授賞式	於：月岡温泉ホテル泉慶	25名

Ⅳ．教員・職員研修会

１．大　学

4 月 7 日（火）　FD/SD 研修会　教職員 63 名（非常勤講師含む）

第 1 部「オンライン授業の実施方法について」

(1) Zoom を用いた遠隔授業と Gmail の利用方法について

講師：松本淳 准教授

(2) Google Classroom の初歩

講師：一戸信哉 教授

第 2 部「ルーブリックのフィードバックと使用方法について」

FD/カリキュラム委員会

8 月 5 日（水）　FD/SD 研修会　教職員 51 名

「第三者評価を終えて：敬和学園大学成人期のカレッジ・アイデンティティ形成に向けて」

(1) 第三者評価の総括と外部資金獲得の秘訣について

講師：今津孝次郎　星槎大学大学院教育研究科長

(2) 明治学院大学チャレンジコミュニティ大学の取り組みについて

講師：永野茂洋　明治学院大学副学長

(3) 外部評価（財務）について

講師：清水直隆 公認会計士

9 月 11 日（金）　職員研修会　職員 28 名

ハラスメント防止研修会

講師：櫻井田絵子　㈱インソース

9 月 23 日（水）　研究倫理・コンプライアンス研修会　教職員 26 名

「研究費の不正使用及び研究活動における不正行為について」

1 月 27 日（水）　FD/SD 研修会　教職員 28 名

(1) Google Classroom　次のステップ：Form やドライブの活用

講師：一戸信哉　教授

(2) 講義や教育活動におけるオンラインツールの使用

講師：Philip Nguyen　契約講師

(3) 高い効果を生むオンライン教育：フォローアップで効果を高める

講師：松本淳 准教授

3 月 10 日（水）　FD/SD 研修会　教職員　46 名（非常勤講師含む）

「著作物の教育利用について」

講師：一戸信哉　教授

２．高　校

4 月 2 日（木）　春の教職員研修会

「これからの敬和教育」

言語技術教育（ランゲージ・アーツ）の必要性

～もし皆様が小中高でこの学びを経験していたならば？

これからの若者がこれを学ばずに卒業するならば？～

講師：森村学園中等部・高等部教頭　林宏之先生

4 月 17 日（金）　教員研修会

「言語技術を知る」

春の教職員研修会の振り返り

言語技術を体験する　齋藤香先生

4 月 24 日（金）　教員研修会

「遠隔教育の可能性を探る」

通信環境に関するアンケートの集計結果

敬和学園大学国際文化学科　一戸信哉教授からの提案

5 月 22 日（金）　教員研修会

「転退学者を減らすために」

転退学者のデータ分析

学年・寮としての取り組み（発表）

8 月 7 日（金）　夏の教員研修会

「新しい敬和教育にむけて」

他校による Classi の活用方法

Classi に関するワークショップ

講師：ベネッセコーポレーション　中尾知美氏　山口寛史氏

Web 出願について　大倉雄介先生

12 月 24 日（木）　冬の教職員研修会

「これからの敬和生活にむけて」

Web 出願にむけて　大倉雄介先生

これからの敬和にむけた話し合い

中塚詠子校長　太田信弘事務長　グループ活動

Ⅴ．当期に行った主な新規事業

１．大　学

（１）高等教育修学支援制度（高等教育無償化）

「国の認定を受けた新入生や在学生が「授業料と入学金の減免（免除又は減額）」と「給付型奨学金（返還不要）の二つの支援を世帯収入に応じて受けられる」

授業料等減免費交付金　39,668 千円

※同額奨学費計上、66 人分。

（２）学生寮（2016 年 4 月開設、寮生 37 人、充足率 92.5%）

収入	寮費用収入（総額表示）	22,226 千円
	新発田市からの補助金	12,000 千円
支出	寮補助活動費（総額表示）	38,005 千円
	人件費（寮監ほか）	1,381 千円
	寮施設設備減価償却額	1,691 千円
	学バス増便分	2,960 千円

（３）学長裁量費関係

アクティブラーニング活動費５件分　584 千円

（４）事務局勤怠管理クラウドシステム・給与計算アウトソーシング　2,690 千円

２．高等学校

（１）生徒納付金改定（学年進行、新入生から適用）

・施設充実費　月額 1 千円値上げ

・冷暖房費　月額 1 千円値上げ

・寮教育管理費　年額 10 千円値上げ

（２）コロナ禍対応

・さくら連絡網の導入　127 千円

・Classi の導入　1,993 千円

・生徒納付金の一部（特別施設維持費、給食費）の返金

1 か月分 14,688 千円

（３）入試関係

・Web 入試受付の導入　495 千円

（４）県私学特色教育チャレンジ支援事業

・研修費、旅費等　2,629 千円

Ⅵ. 当期に行った主な施設設備の整備状況

１．大　学

（１）ＬＬ教室パソコン入替（後援会からのご支援）	5,672 千円
（２）教室プロジェクタ設置（後援会からのご支援）	2,460 千円
（３）体育館アリーナ・図書館コンピュータ室他照明ＬＥＤ化工事	5,631 千円
（４）キャリアサポート課リニューアル工事	1,674 千円
（５）食堂オレンジホールＰタイル張替	1,872 千円
（６）食堂厨房天井エアコン設置	1,760 千円
（７）栄光館３・４Ｆ女子トイレ窓建具改修	1,034 千円
（８）教職員駐車場舗装・進入路車減速対策横型グルービング設置	1,386 千円
（９）浄化槽メインブロワー交換	1,397 千円

２．高等学校

（１）大望館　寮務教師宅改修工事	5,500 千円
（２）黎明館　防火シャッター改修工事	1,870 千円
（３）普通教室カーテン取替（卒業記念品）	1,200 千円
（４）みぎわ館　寮務教師宅改修工事	1,200 千円
（５）大望館　ホールエアコン入替工事	1,100 千円
（６）労作トラクター購入	935 千円
（７）PC 教室　生徒用 PC 入替リース料当年度分	1,604 千円
	（リース料総額　10,692 千円）
（８）コロナ関連支出	総額 5,764 千円（さくら連絡網、Classi 含む）
・飛沫防止用パーテーション	1,056 千円
・サーマルカメラ・PC 一式	786 千円
・非接触型体温計	112 千円
・その他（さくら連絡網、Classi 以外）	1,690 千円

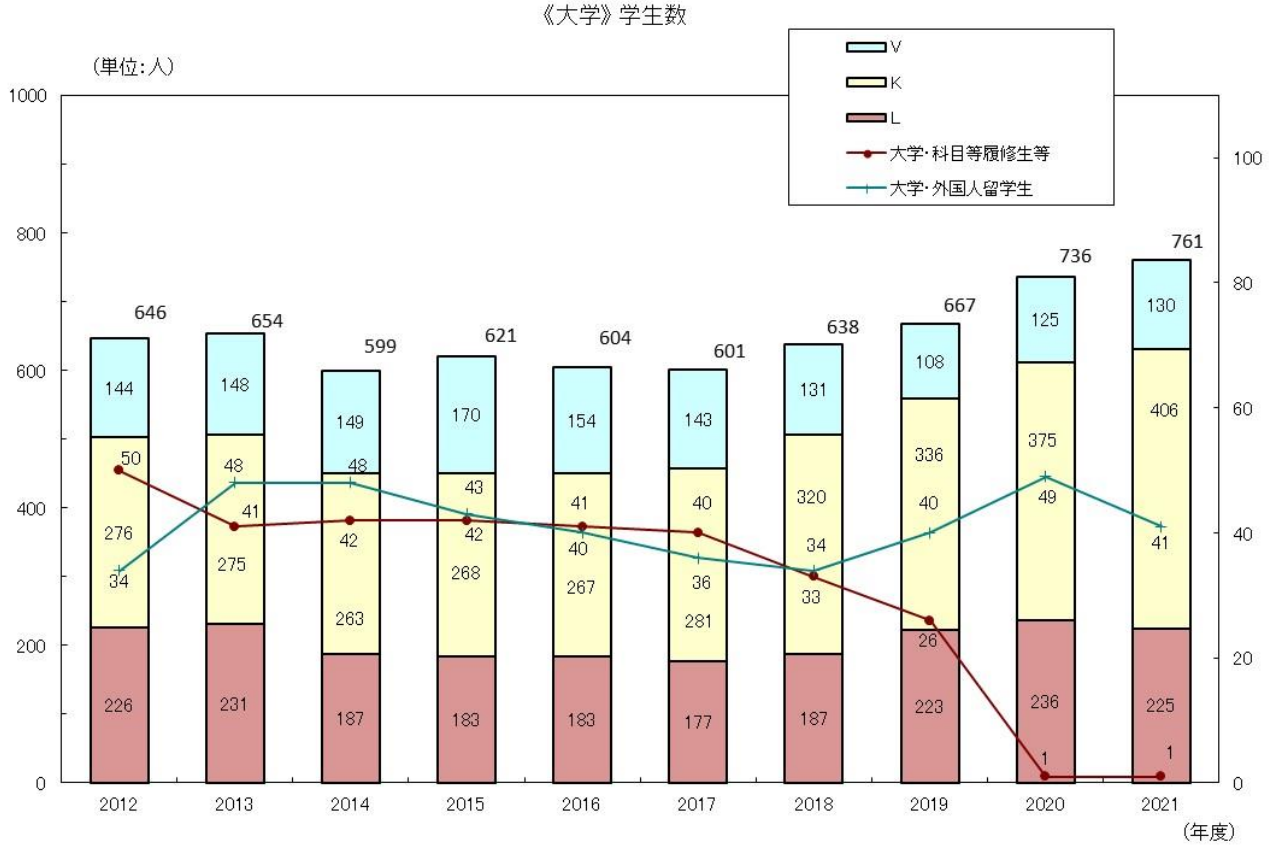
Ⅶ.　学生数・教職員数等及び財務比率の推移

（学生数･教職員数等は各年度の５月１日現在）

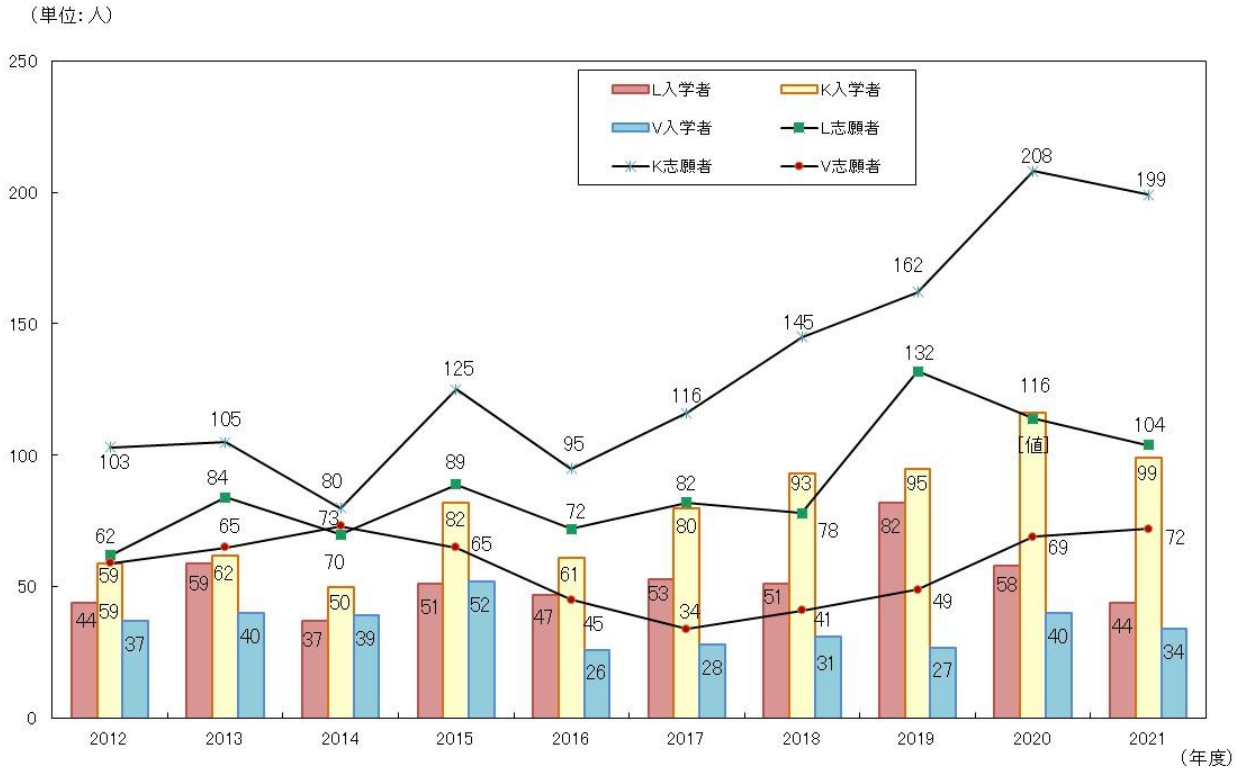
《大学部門》

Ｌ＝英語文化コミュニケーション学科
Ｋ＝国際文化学科　　Ｖ＝共生社会学科

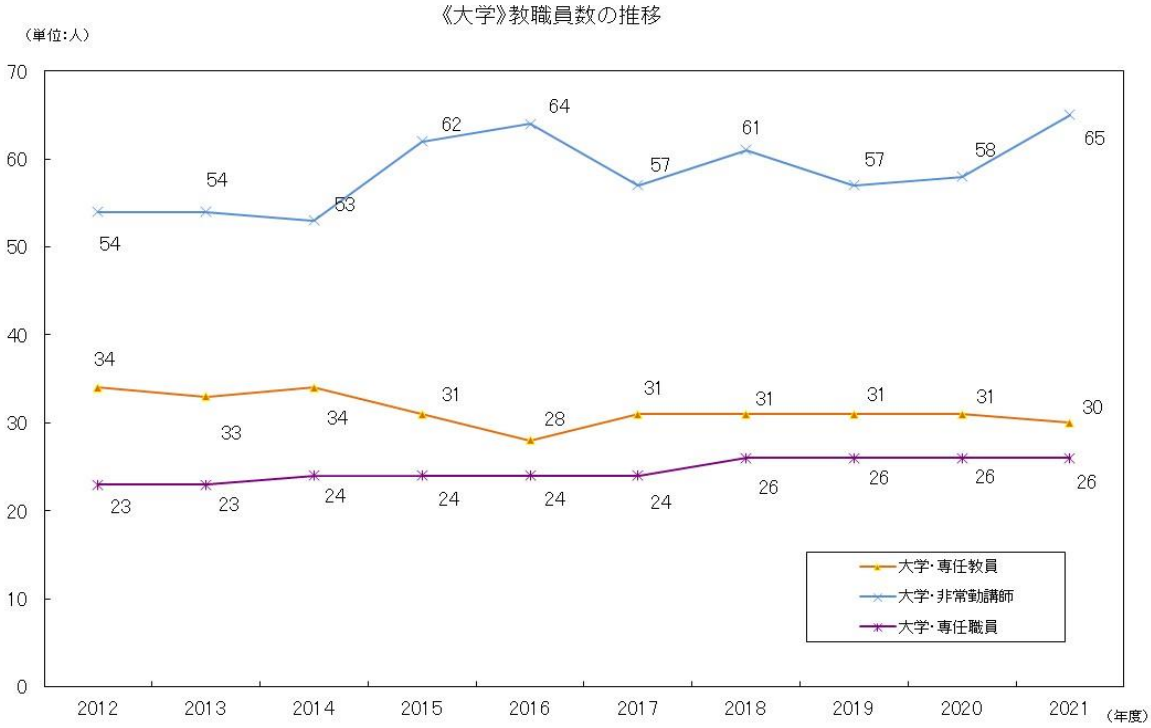
《大学》学生数



《大学》志願者数と入学者数



《大学部門》


《大学》教職員数の推移
（単位:人）
70
60
50
40
30
20
10
0
54
54
53
62
64
57
61
57
58
65
34
33
34
31
28
31
31
31
31
30
23
23
24
24
24
24
26
26
26
26
大学・専任教員
大学・非常勤講師
大学・専任職員
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
（年度）

2016－2020年度決算 事業活動収支計算書関係比率

《法人全体》

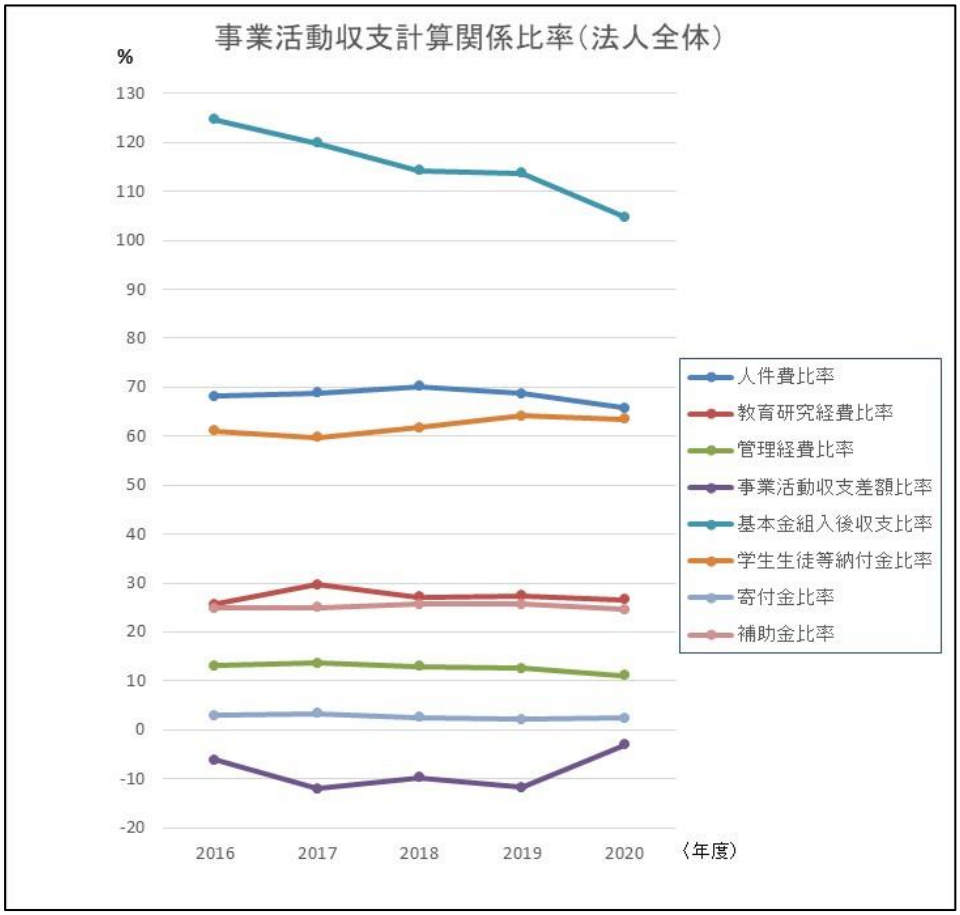
比率名・算出方法		法人全体				
		2016	2017	2018	2019	2020
1 人件費比率 ▼	人件費 / 経常収入	68.1 %	68.8 %	70.1 %	68.7 %	65.7 %
2 人件費依存率 ▼	人件費 / 学生生徒等納付金	111.7 %	115.3 %	113.7 %	107.1 %	103.5 %
3 教育研究経費比率 △	教育研究経費 / 経常収入	25.7 %	29.7 %	27.1 %	27.4 %	26.6 %
4 管理経費比率 ▼	管理経費 / 経常収入	13.1 %	13.6 %	13.0 %	12.6 %	11.1 %
5 借入金等利息比率 ▼	借入金等利息 / 経常収入	0.2 %	0.1 %	0.2 %	0.1 %	0.1 %
6 事業活動収支差額比率 △	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	-6.1 %	-12.0 %	-9.8 %	-11.8 %	-3.1 %
7 基本金組入後収支比率 ▼	事業活動支出 / 事業活動収入－基本金組入額	124.7 %	119.8 %	114.3 %	113.7 %	104.8 %
8 学生生徒等納付金比率 ～	学生生徒等納付金 / 経常収入	61.0 %	59.7 %	61.7 %	64.1 %	63.5 %
9 寄付金比率 △	寄付金 / 事業活動収入	3.0 %	3.3 %	2.5 %	2.2 %	2.4 %
9 経常寄付金比率 △	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	2.9 %	3.1 %	2.3 %	1.7 %	1.7 %
10 補助金比率 △	補助金 / 事業活動収入	24.8 %	25.0 %	25.6 %	25.7 %	24.6 %
10 経常補助金比率 △	教育活動収支の補助金 / 経常収入	24.1 %	24.8 %	25.4 %	25.8 %	24.7 %
11 基本金組入率 △	基本金組入額 / 事業活動収入	14.9 %	6.5 %	4.0 %	1.7 %	1.6 %
12 減価償却額比率 ～	減価償却額 / 経常支出	9.1 %	8.6 %	9.2 %	9.8 %	9.0 %
13 経常収支差額比率 △	経常収支差額 / 経常収入	-7.2 %	-12.5 %	-10.5 %	-8.9 %	-3.6 %
14 教育活動収支差額比率 △	教育活動収支差額 / 教育活動収入計	-7.5 %	-12.9 %	-10.7 %	-9.0 %	-3.6 %

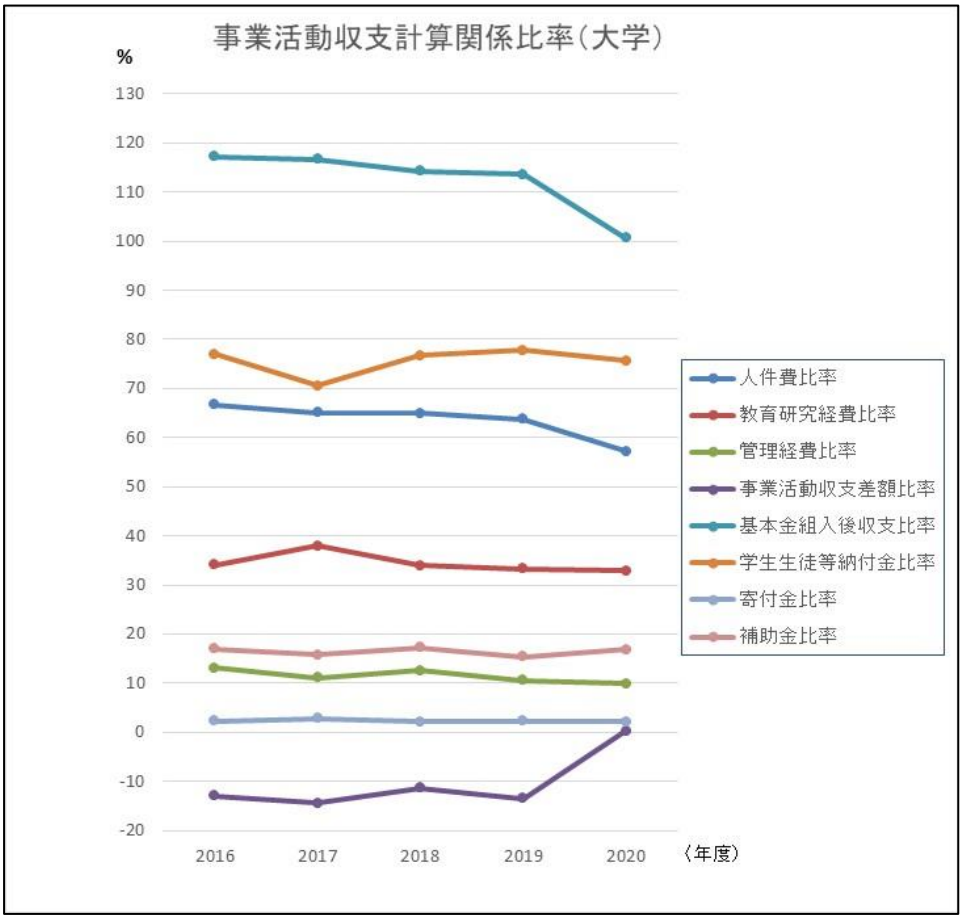
※比率の高低の評価は次のとおり。　△　高い値が良い　▼　低い値が良い　～　どちらとも言えない

《大学部門》

比率名・算出方法		大学				
		2016	2017	2018	2019	2020
1 人件費比率 ▼	人件費 / 経常収入	66.7 %	65.1 %	64.9 %	63.8 %	57.2 %
2 人件費依存率 ▼	人件費 / 学生生徒等納付金	86.5 %	92.2 %	84.6 %	82.1 %	75.8 %
3 教育研究経費比率 △	教育研究経費 / 経常収入	34.1 %	38.0 %	34.0 %	33.3 %	32.9 %
4 管理経費比率 ▼	管理経費 / 経常収入	13.1 %	11.1 %	12.6 %	10.5 %	9.9 %
5 借入金等利息比率 ▼	借入金等利息 / 経常収入	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
6 事業活動収支差額比率 △	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	-13.0 %	-14.4 %	-11.3 %	-13.5 %	0.3 %
7 基本金組入後収支比率 ▼	事業活動支出 / 事業活動収入－基本金組入額	117.2 %	116.6 %	114.2 %	113.6 %	100.6 %
8 学生生徒等納付金比率 ～	学生生徒等納付金 / 経常収入	77.0 %	70.6 %	76.7 %	77.7 %	75.6 %
9 寄付金比率 △	寄付金 / 事業活動収入	2.3 %	2.8 %	2.2 %	2.3 %	2.1 %
9 経常寄付金比率 △	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	2.2 %	2.8 %	2.1 %	1.7 %	1.3 %
10 補助金比率 △	補助金 / 事業活動収入	17.0 %	15.8 %	17.2 %	15.4 %	16.9 %
10 経常補助金比率 △	教育活動収支の補助金 / 経常収入	16.3 %	15.8 %	17.3 %	15.5 %	17.1 %
11 基本金組入率 △	基本金組入額 / 事業活動収入	3.5 %	1.8 %	2.5 %	0.1 %	0.8 %
12 減価償却額比率 ～	減価償却額 / 経常支出	6.5 %	5.8 %	6.6 %	6.8 %	6.5 %
13 経常収支差額比率 △	経常収支差額 / 経常収入	-14.0 %	-14.3 %	-11.5 %	-7.6 %	0.0 %
14 教育活動収支差額比率 △	教育活動収支差額 / 教育活動収入計	-14.9 %	-15.2 %	-12.2 %	-7.9 %	0.0 %

※比率の高低の評価は次のとおり。　△　高い値が良い　▼　低い値が良い　～　どちらとも言えない


事業活動収支計算関係比率（法人全体）
%
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
-10
-20
2016
2017
2018
2019
2020
（年度）
人件費比率
教育研究経費比率
管理経費比率
事業活動収支差額比率
基本金組入後収支比率
学生生徒等納付金比率
寄付金比率
補助金比率


事業活動収支計算関係比率（大学）
%
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
-10
-20
2016
2017
2018
2019
2020
（年度）
人件費比率
教育研究経費比率
管理経費比率
事業活動収支差額比率
基本金組入後収支比率
学生生徒等納付金比率
寄付金比率
補助金比率

人件費比率	▼低い値がよい
教育研究経費比率	△高い値がよい
管理経費比率	▼低い値がよい
事業活動収支差額比率	△高い値がよい
基本金組入後収支比率	▼低い値がよい
学生生徒等納付金比率	～どちらとも言えない
寄付金比率	△高い値がよい
補助金比率	△高い値がよい

学校法人敬和学園

2020 年度事業報告書

2021 年 5 月 25 日発行

学校法人　敬和学園

〒957-8585　新潟県新発田市富塚字三賀境 1270 番地

電話　0254-26-3636　　FAX　0254-26-3646